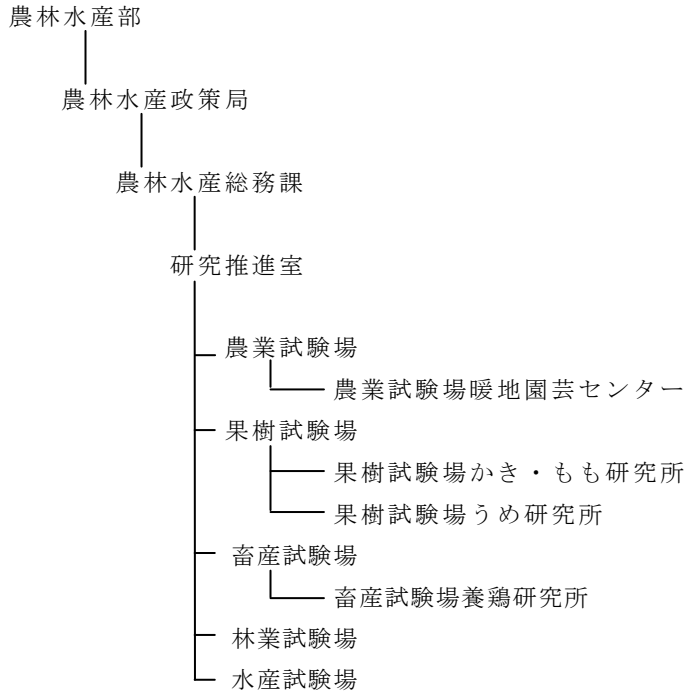


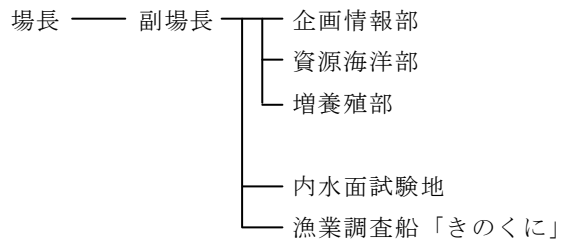
## 水産試験場概要

### I 機構と組織

#### 1) 機構



#### 2) 内部組織



#### 3) 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	2	4
資源海洋部		6		6
増養殖部		5	1	6
内水面試験地		3	1	4
漁業調査船	8			8
	8	18	4	30

4) 職員と職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	木村 創	場の総合企画及び総括
	副場長	吉本 洋	場の総合補佐，人事，服務，庁舎の管理，予算の総括
企画情報部	部 長 (副場長兼務)	吉本 洋	部の総括・企画調整
	主査研究員	向野 幹生	人工魚礁の効果調査，藻場造成に関すること
	主査研究員	堀木 暢人	成果の普及・公表に関すること
	用務員	田所 恵子	庁舎内外の清掃及び雑務
	用務員	田中 千秋	〃
資源海洋部	部 長	武田 保幸	部の総括・企画調整
	主任研究員	中地 良樹	海洋観測，黒潮変動に関すること
	主査研究員	原田 慈雄	卵稚仔調査，まき網漁業に関すること
	主査研究員	安江 尚孝	定置網，船びき網漁業に関すること
	副主査研究員	千川 厚	人工衛星画像，高度回遊性魚類に関すること
	副主査研究員	土居内 龍	資源管理，小型底びき網漁業に関すること
増養殖部	部 長	小久保 友義	部の総括・企画調整
	主任研究員	濱地 寿生	種苗生産・養殖技術に関すること
	主査研究員	諏訪 剛	浅海域の環境変化に関すること
	副主査研究員	白石 智孝	マナマコの種苗生産，藻類養殖に関すること
	研究員	山根 弘士	魚病対策に関すること
	現業技能員	佐々木 明生	調査研究の補助
内水面試験地	主任研究員	葦澤 崇博	アマゴ資源に関すること
	主査研究員	高橋 芳明	アユ資源に関すること
	副主査研究員	中山 仁志	魚病対策に関すること
	現業技能員	佐武 功三	施設整備に関すること
漁業調査船 (きのくに)	船 長	西 博	船舶の管理，運航及び海洋調査に関すること
	機関長	亀谷 弘	〃
	主査航海士	小西 寛弥	〃
	主査機関士	岸 幸一	〃
	主査機関士	鳥居 英希	〃
	副主査航海士	河田 進一	〃
	副主査航海士	住谷 勝志	〃
	副主査航海士	清野 茂	〃

## II 業務

### 1) 試験研究項目一覧

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳			
		国庫補助	国庫委託	雑入	一般財源
水産試験場費	62,316	1,000		23,205	38,111
水産試験場運営	16,511				16,511
内水面試験地運営	5,823			1,520	4,303
調査船運航	4,681				4,681
漁業資源・漁場調査と情報提供	12,572			12,572	
高度回遊性魚類調査	4,200			4,200	
紀州特産魚ブランド力強化のための 体成分特性の解明	2,645				2,645
消波ブロックの有効利用による漁村 活性化	2,409				2,409
藻場再生技術の確立	2,800			1,800	1,000
新規有用種の生産技術開発試験	1,900			400	1,500
養殖衛生管理体制整備	2,000	1,000			1,000
アユ資源予測	1,000				1,000
アユ放流効果調査	1,200			1,200	
アマゴ在来個体群の保護と遊漁利用を 両立するための基礎調査	930			930	
養殖アユのブランド化に向けた研究	989				989
低コストなアユ養殖飼料の開発	2,073				2,073
アユ冷水病トキソイドワクチンの開発	583			583	
水産業振興費	2,998	76			2,922
資源管理課	2,825	76			2,749
水産振興課	173				173
漁業調整費	60				60
漁業構造改善費	701				701
	66,075	1,076		23,205	41,794

## III 業績

### 1 外部に発表した事項

#### 1) 一般雑誌

題名	発表者	発表雑誌
○和歌山県において2011年秋季～2012年春季に観察 されたヒジキ主枝の伸長特性	諏訪 剛	南紀生物
○紀伊水道東部沿岸域におけるカタクチイワシとマ イワシ仔魚の出現量の経年変化	安江 尚孝 原田 慈雄 中地 良樹	黒潮の資源海洋研究 第14号

題 名	発 表 者	発 表 雑 誌
○紀伊水道におけるタチウオの資源評価	土居内 龍 吉見 圭一郎 堀田 敏弘	黒潮の資源海洋研究 第14号

2) 書籍

題 名	発 表 者	発 表 誌
Monitoring Harmful Microalgae by Using a Molecular Biological Technique.	Shiraiishi, T. R. Kamikawa Y. Sako I. Imai	Food Quality Dr. Kostas Kapiris (ED), In Tech

3) 委託事業報告書等刊行物

- (1) 漁海況速報（週刊）
- (2) 沖合黒潮調査速報（黒潮横断観測実施ごと発行，2012-No. 1～3）
- (3) 人工衛星画像海況速報（2012-No. 37～141，2013-No. 1～35）

4) 農林水産省研究会資料等

題 名	発 表 者	発 表 誌
○平成24年度国際資源対策推進委託事業第1回カツオSU推進検討会	干川 厚	同会議資料
○瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁海況予報会議	安江 尚孝	同会議資料
○平成24年度国際資源評価等推進委託事業第3回カツオSU推進検討会	干川 厚	同会議資料
○平成24年度中央ブロック資源評価会議および第1回太平洋イワシ，アジ，サバ等長期漁海況予報会議	安江 尚孝 原田 慈雄 土居内 龍 中地 良樹	同会議資料
○平成24年度瀬戸内海ブロック資源評価会議	安江 尚孝 土居内 龍	同会議資料
○平成24年度中央ブロック資源・海洋研究会	原田 慈雄 土居内 龍 安江 尚孝	同会議資料
○第2回太平洋イワシ，アジ，サバ等長期漁海況予報会議，第3回資源評価調査担当者会議	中地 良樹 原田 慈雄 安江 尚孝	同会議資料
○平成24年度関東・東海ブロック水産海洋連絡会	木村 創 中地 良樹 武田 保幸 干川 厚	同会議資料

題 名	発 表 者	発 表 誌
○平成24年度国際資源評価等推進委託事業まぐろ調査研究成果報告会	原田 慈雄 干川 厚	同会議資料
○平成24年度水産増養殖関係研究開発推進会議養殖産業部会	白石 智孝	同会議資料
○平成24年度中央ブロック水産業関係研究開発推進会議「漁業資源部会」・「海洋環境部会」	小久保 友義 武田 保幸	同会議資料
○平成24年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議・生産環境部会・増養殖部会合同部会及び藻類情報交換会	小久保 友義 諏訪 剛	同会議資料
○平成24年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	山根 弘士	同会議資料
○平成24年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮・貝毒部会	白石 智孝	同会議資料
○平成24年度養殖衛生管理体制整備事業太平洋ブロック地域合同検討会	山根 弘士	同会議資料
○平成24年度ナマコ種苗生産研究会	白石 智孝	同会議資料
○平成24年度溪流資源増大技術開発事業第1回検討委員会	高橋 芳明	同会議資料
○平成24年度溪流資源増大技術開発事業第2回検討委員会(年度末報告会)	葦澤 崇博 高橋 芳明	同会議資料
○平成24年度アユ疾病研究部会	中山 仁志	同会議資料
○平成24年度アユ資源研究部会	高橋 芳明	同会議資料

#### 5) 新聞掲載

記事見出し(内容)	掲載年月日	掲載誌名
・初カツオ水揚げに沸く	2012. 4. 18	読売新聞
・紀伊水道のサワラ主食はタチウオ	2012. 4. 22	紀伊民報
・カツオ連日豊漁市場に活気	2012. 5. 11	紀伊民報
・Iターン者ら研修	2012. 7. 12	紀伊民報
・紀州特産魚科学で「おいしさ」解明へ	2012. 8. 7	紀伊民報
・消波ブロックで藻場造成	2012. 8. 22	紀伊民報
・低コスト飼料開発へ	2012. 9. 14	紀伊民報
・南方系マグロ類「スマ」を養殖魚に	2012.10.12	紀伊民報
・県水産試験場がスマの養殖研究	2012.11.19	産経新聞
・水試場長ら情報交換	2012.11.24	紀伊民報
・「日本が資源管理を」魚類養殖シンポ クロマグロで講演	2012.11.27	紀伊民報
・伊勢海老	2012.12. 8	リビング和歌山
・海藻や魚に興味津々 県水産試験場で体験ツアー	2012.12.28	熊野新聞
・漁の労力軽減・収入確保 ナマコ産地目指せ	2013. 1. 27	朝日新聞
・ムロアジ類産卵場特定で資源増へ	2013. 2. 15	紀伊民報

#### 7) 研究発表会

(1) 県内養殖衛生対策会議

①日 時

平成24年12月18日

② 場 所

水産試験場学習ホール

③ 内 容

- ・ 養殖マグロの疾病について

(発表者：水産試験場 研究員 山根弘士)

- ・ 水産用医薬品の適正使用について

(発表者：水産試験場 研究員 山根弘士)

- ・ スマの種苗生産について

(発表者：水産試験場 副主査研究員 白石智孝)

- ・ 和歌山県沿岸におけるヒジキの生態

(発表者：水産試験場 主査研究員 諏訪 剛)

(2) 水産試験場成果発表会

① 日 時

平成 25 年 2 月 15 日

② 場 所

紀南文化会館小ホール

③ 共 催 公益財団法人わかやま産業振興財団

④ 内 容

基調講演 アオノリの生理生態とその養殖技術への応用

徳島県農林水産総合技術支援センター水産研究所 所長 團 昭紀

成果発表

マルアジはどこで卵を産むのか？

(発表者：資源海洋部 主査研究員 原田慈雄)

浮遊幼生期における県産マナモコの飼育条件について

(発表者：増養殖部 副主査研究員 白石智孝)

和歌山県沿岸のヒジキについて

(発表者：増養殖部 主査研究員 諏訪 剛)

ダム上流域におけるアユ種苗の放流効果について

(発表者：内水面試験地 主査研究員 高橋芳明)

8) 研修生・見学者の受け入れ

(1) 研修生の受け入れ

地域社会体験研修

高池小学校教師 (1 名) 8 月 2 日～ 8 月 3 日

インターンシップ

日本大学 (1 名) 8 月 20 日～ 8 月 31 日

職場体験学習

古座中学校 (2 名) 8 月 27 日～ 8 月 29 日

西向中学校 (1 名) 9 月 25 日～ 9 月 27 日

潮岬中学校 (1 名) 10 月 10 日～ 10 月 12 日

串本中学校 (1 名) 10 月 16 日～ 10 月 18 日

串本古座高校 (3 名) 2 月 20 日～ 2 月 21 日

(2) くろしおふれあい講座

①参加者

きのくにふれあいバス，県下小中学校，ふるさと定住センター，田辺市東部地区民生児童委員協議会，  
韓国海洋水産研修団，那智勝浦町ふれあいネットワーク 以上 422 名

②内 容

水産試験場概要説明，海藻の分類

③見学者

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	1	4	2	7	2	6	0	0	5	17
5	0	0	3	8	2	9	6	44	11	61
6	0	0	2	3	1	2	4	28	7	33
7	3	4	2	4	3	19	3	5	11	32
8	2	2	1	4	8	67	3	17	14	90
9	1	1	5	27	2	7	2	6	10	41
10	0	0	3	7	3	19	2	58	8	84
11	4	182	3	36	14	278	8	148	29	644
12	1	5	1	1	3	16	3	31	8	53
1	2	2	2	61	2	54	2	5	8	122
2	4	8	2	4	7	126	1	1	14	139
3	2	17	0	0	6	21	4	8	12	46
計	20	225	26	162	53	624	38	351	137	1,362